



「長丁場の公演をもちこたえるにはヨガもいんですよ」「ハイ、頑張りまっす」ジュリーは若い。(撮影/中野理恵太、右ページも)

同時に、知らない同士の共同作業という冒険に対する構えを固めているような時期でもあった(以下、当時のある日の対話)

沢田 僕は横浜でドゥクフレさんのステージを見たときから一緒に何かやりたいな、と思ったんですよ。それが実現したわけだけど——ミュージカルは初めてですってね。その勇気が凄い。稽古場で初めて会うという瞬間も、僕は非常に緊張しました。ドゥクフレ あなたのビデオを見ましたよ。こんな歌い方する人なら大丈夫、自分のオリジナルを加えて行くセンスが好きですね。それとチャレンジ精神。

僕もセリフのある舞台の演出は初めてだし、日本で仕事をやるのもCM以外は初めてですからね。いつもと違うことをやってみるという意味で、これはかなりの冒険です。

第一、日本の人たちの仕事の方、凄いですね。時間の使い方、効率的なこと……僕らだったら一年前からリハーサルを

するんですが、日本では初日の五週間前。でも、何かアイディアが生まれると、サワダの周りのスタッフがソレツとばかりに行動して実現させる、日本のこのダイナミズムも凄い。

沢田 それっていいことなのかどうか……フランス風にじっくり時間をかける仕事、日本では考えられないけど。

それより僕にはダンスが大問題で。今までダンスのレッスンで正式に受けたことないんです。曲に振りをつけるという意味でのダンスはずいぶんやってきましたが——全部、自分でやったんです。付け焼刃ばかり。いわゆるダンスじゃないですよ、ヘンなんです。だからこそ、今回のドゥクフレさんの振付、恐いけど楽しかったです。

ドゥクフレ 舞台もダンスも初挑戦という山瀬まみがいるかと思えばプロのダンサーやアクロバットもいる、サーカスの人も参加する。この混成チームの成果はミステリアス。



フィリップ・ドゥクフレの最新作『デコデックス』。昨年7月の初演後、フランス各地で上演。

音楽も面白いしね。僕はりんけんの最初のCDも持っています。フォークロア的で、いろいろな芸術のミックスで……女性ヴォーカルの声が素晴らしいしね。彼の曲は期待できる。

沢田 そう、沖縄音楽のあの独特なサウンドが僕も好きです。浜口庫之助先生が曲にとり入れていたし、僕らの「シーサイドバウンド」も沖縄音楽が入っていたでしょう。

ドゥクフレさんがりんけんで言ったと聞いたとき、「やった」と思いましたね。日本人だと逆にそこまで踏みきれない。ドゥクフレ とにかく今までにない新しい経験と、創造的ですし、かも大衆の人気を得る仕事をしよう。あなたは身体を鍛えて、筋肉痛にならないようにね。

「DORA〜100万回生きたねこ」
演出・振付/フィリップ・ドゥクフレ
演出・振付/フィリップ・ドゥクフレ
料金/S席¥8,000
¥5,000 名古屋・中日劇場
◎ホリプロ03(3707)4747

マラーホフの贈り物

美の化身になぞらえられるダンサー、マラーホフ。現在はロシアを離れ、世界に活躍の場を広げている。今回のガラ公演では、カナダが生んだ最高の抒情派バレリーナ、イヴリン・ハートをはじめ、ABTのアマンダ・マツケロー、ニューヨーク・シティ・バレエのニコライ・ヒュッペ、ウエンディ・ウィーラン他のスターが共演する。

◎% 〇チヤードホール 料金/S席¥14,000 ※大阪、愛知、広島、岡山、熊本の公演あり
◎日本舞台芸術振興会03(3725)8888

ラ・ラ・ラ・ヒューマン・ステップス

振付家エドワード・ロック率いるラ・ラ・ヒューマン・ステップスは、いま世界で最もエキサイティングなダンス・カンパニー。爆走するようなスピード、空中に身体を投げ出し水平に回転する超人的な動き……圧倒的に肉体を感じさせてくれるエネルギーに魅了される。

●『アンファント』2/74 『2』(最新作) 7/74 彩の国さいたま芸術劇場 料金/S席¥6,000
◎カンパセーション03(3233)1933

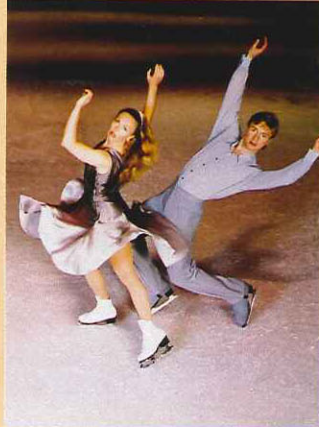


ラ・ラ・ラ…のダンスは重力を凌駕する。
(PHOTO/EDOUARD LOCK)

スターズ・オン・アイス

全米で人気のアイス・ショー「スターズ・オン・アイス」が初来日。『ボレロ』でおなじみのトールヴィル&ディーン組が出演するほか、八八年、九四年冬季オリンピックの金メダリスト、ゴルデーワが昨年未急逝した夫パートナーのグリンコフに捧げるソロの舞いを披露する。

●% 国立代々木競技場第一体育館 料金/アリーナ席¥18,000 IMG03(3403)9003



トールヴィル&ディーン組が再び『ボレロ』を。